

【本日のミサ】年間第 25 主日 『主を尋ね求めよ、見いだしうるときに』

入祭：典 54 「神の み旨を行うことは」

答唱詩編：典 18 ①④⑧ 「いのちある 全ての ものに」

アレルヤ唱：典 270 25A 「神よ、わたしたちの心を開き、
あなたの子が語られることに心に向けさせてください。」

奉納：プリント「ありがとう」（7 時ミサなし）

拝領：典 123 「主は われらの牧者」（7 時ミサなし）

閉祭：プリント「主を尋ね求めよ」



「聖書と典礼」コラム

第一朗読 イザヤの預言 55:6-9

主を尋ね求めよ、見いだしうるときに。呼び求めよ、近くにいますうちに。
神に逆らう者はその道を離れ 悪を行う者はそのたくらみを捨てよ。
主に立ち帰るならば、主は憐れんでくださる。
わたしたちの神に立ち帰るならば豊かに赦してくださる。

わたしの思いは、あなたたちの思いと異なり わたしの道はあなたたちの道と異なると
主は言われる。
天が地を高く超えているように わたしの道は、あなたたちの道を
わたしの思いはあなたたちの思いを、高く超えている。

第二朗読 使徒パウロのフィリピの教会への手紙 1:20c-1:24、27a

（皆さん、）生きるにも死ぬにも、わたしの身によってキリストが公然とあがめられる
ようにと切に願い、希望しています。わたしにとって、生きるとはキリストであり、死
ぬことは利益なのです。けれども、肉において生き続ければ、実り多い働きができ、ど
ちらを選ぶべきか、わたしには分かりません。この二つのことの間で、板挟みの状態
です。一方では、この世を去って、キリストと共にいたいと熱望しており、この方がはる
かに望ましい。だが他方では、肉にとどまる方が、あなたがたのためにもっと必要です。
ひたすらキリストの福音にふさわしい生活を送りなさい。

福音朗読 マタイによる福音 20:1-16

（そのとき、イエスは弟子たちにこのたとえを語られた。）「天の国は次のようにたとえ
られる。ある家の主人が、ぶどう園で働く労働者を雇うために、夜明けに出かけて行っ
た。主人は、一日につき一デナリオンの約束で、労働者をぶどう園に送った。また、九
時ごろ行ってみると、何もしないで広場に立っている人々がいたので、『あなたたちも
ぶどう園に行きなさい。ふさわしい賃金を払ってやろう』と言った。それで、その人た
ちは出かけて行った。主人は、十二時ごろと三時ごろにまた出て行き、同じようにし
た。五時ごろにも行ってみると、ほかの人々が立っていたので、『なぜ、何もしないで
一日中ここに立っているのか』と尋ねると、彼らは、『だれも雇ってくれないのです』
と言った。主人は彼らに、『あなたたちもぶどう園に行きなさい』と言った。夕方にな
って、ぶどう園の主人は監督に、『労働者たちを呼んで、最後に来た者から始めて、最
初に来た者まで順に賃金を払ってやりなさい』と言った。そこで、五時ごろに雇われた
人たちが来て、一デナリオンずつ受け取った。最初に雇われた人たちが来て、もっと多
くもらえるだろうと思っていた。しかし、彼らも一デナリオンずつであった。それで、
受け取ると、主人に不平を言った。『最後に来たこの連中は、一時間しか働きませんで
した。まる一日、暑い中を辛抱して働いたわたしたちと、この連中とを同じ扱いにする
とは。』主人はその一人に答えた。『友よ、あなたに不当なことはしていない。あなたは